

2. 新規受検申込者の受検資格(旧受検資格)と提出書類

- 令和6年度中における年齢が19歳以上の者で、受検資格区分(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)のいずれかに該当する者が受検できます。
- 受検申請書類(A票、B票※、C票、D票)及び必要な証明書類等を提出してください。
※申込みに必要な書類に不足があると受検できません。
※B票は受検資格区分(ニ)、(ホ)の方のみ必要です。
- 実務経験の内容及び年数、指導監督的実務経験、実務経験の証明等については、9～16ページを参照してください。

受検資格区分(イ) 最終学歴卒業後の実務経験年数

受検資格区分(ロ) 2級合格者の実務経験年数

受検資格区分(ハ) 造園技能検定合格者の実務経験年数

- 指定学科・専修学校等の取り扱いについては、49ページおよび当センターホームページの「指定学科一覧」を参照してください。
- 再受検申込者は19ページを参照してください。

ご注意

- 申込書類提出後の新・旧の受検資格区分の変更はできません。
- 受検資格のない方および不備書類等で、第一次検定の受検資格のみ満たす場合は、「第一次検定のみ」に検定区分を変更します。(その場合、第一次検定を合格しても当年度の「第二次検定」は受検できません)
なお、検定区分の変更については、事前に文書にて通知します。

区分	学歴と資格	造園施工管理に関する必要な実務経験年数		申込みに必要な書類		
		指定学科	指定学科以外	受検資格に応じた必要な証明書類	区分(イ)、(ロ)、(ハ)の受検者全員が必要な書類	
(イ)	学校教育法による ・大学 ・専門学校の「高度専門士」*1	卒業後 3年以上 の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	卒業後 4年6ヵ月以上 の実務経験年数	卒業証明書(18ページ参照) ・卒業証明書は原本のみ ・卒業式で授与される卒業証書は不可 ・卒業証明書が旧姓の方は、戸籍抄本等(原本のみ)が必要です ・高度専門士・専門士は、称号が記載された卒業証明書が必要です (記載が無い場合は別途証明書が必要) ・専修学校専門課程の卒業証明書には「専門課程」の記載が必要です	① A票 ・21～24、29ページ参照 ② C票 ・31～32ページ参照 ・証明用写真を貼付(17ページ参照) ③ D票 ・30ページ参照 ・振替払込受付証明書を貼付 (17ページ参照) ④ 住民票 ・17ページ参照 ※B票の提出は不要です。	
	学校教育法による ・短期大学 ・高等専門学校(5年制) ・専門学校の「専門士」*2	卒業後 5年以上 の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	卒業後 7年6ヵ月以上 の実務経験年数			
	学校教育法による ・高等学校 ・中等教育学校(中高一貫6年) ・専修学校の専門課程	卒業後 10年以上 の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	卒業後 11年6ヵ月以上 の実務経験年数			
	その他(学歴を問わず)	15年以上の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	—			
(ロ)	2級造園施工管理技術検定 第二次検定*合格者 (※令和2年度までは実地試験)	合格後 5年以上の実務経験年数 (本年度該当者は平成30年度までの合格者) 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)		
	2級造園施工管理 技術検定第二次検定*合格後、実務経験が5年未満の者 (※令和2年度までは実地試験)	学校教育法による ・高等学校 ・中等教育学校 (中高一貫6年) ・専修学校の専門課程	卒業後 9年以上 の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	卒業後 10年6ヵ月以上 の実務経験年数		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写) 卒業証明書(18ページ参照) ・卒業証明書は原本のみ ・卒業式で授与される卒業証書は不可 ・卒業証明書が旧姓の方は、戸籍抄本等(原本のみ)が必要です ・専修学校専門課程の卒業証明書には「専門課程」の記載が必要です
		その他(学歴を問わず)	14年以上の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。	—		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)
(ハ)	技能検定合格者 職業能力開発促進法による1級「造園」 技能検定合格者	10年以上の実務経験年数 1年以上の指導監督的実務経験年数が含まれていること。 [ただし、平成15年度までに1級「造園」の資格を取得していた者は、実務経験年数の記載は不要です。]		1級「造園」技能検定に合格したことを証する書類(写)		

*1、*2 18ページ参照

受検資格区分(二) 専任の主任技術者の経験が1年(365日)以上ある者(25ページ参照)
 受検資格区分(ホ) 指導監督的年数が1年以上、主任技術者の資格要件成立後、専任の監理技術者の指導のもとにおける実務経験が2年以上ある者(27ページ参照)

区分	学歴と資格		造園施工管理に関する必要な実務経験年数		申込みに必要な書類			
			指定学科	指定学科以外	受検資格に応じた必要な証明書類	該当区分の受検者全員が必要な書類		
(二)	専任の主任技術者の実務経験が1年(365日)以上ある者	2級造園施工管理技術検定第二次検定*合格者 (※令和2年度までは実地試験)		合格後3年以上の実務経験年数 (本年度該当者は令和2年度までの合格者)		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)	① A票・B票(B-1) ・21～26、29ページ参照 ② C票 ・31～32ページ参照 ・証明用写真を貼付(17ページ参照) ③ D票 ・30ページ参照 ・振替払込受付証明書を貼付(17ページ参照) ④ 専任の主任技術者として従事したことが確認できる書類の写し(25ページ⑤参照) ⑤ 住民票 ・17ページ参照	
		2級造園施工管理技術検定第二次検定*合格後、実務経験が3年未満の者 (※令和2年度までは実地試験)	学校教育法による ・短期大学 ・高等専門学校(5年制) ・専門学校の「専門士」	卒業後7年以上の実務経験年数		卒業後7年以上の実務経験年数		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)
			学校教育法による ・高等学校 ・中等教育学校(中高一貫6年) ・専修学校の専門課程			卒業後7年以上の実務経験年数		卒業後8年6ヵ月以上の実務経験年数
		その他(学歴を問わず)	12年以上の実務経験年数		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)			
その他	学校教育法による ・高等学校 ・中等教育学校(中高一貫6年) ・専修学校の専門課程	卒業後8年以上の実務経験年数	卒業後(※)9年6ヵ月以上の実務経験年数	卒業証明書(18ページ参照) ・卒業証明書は原本のみ ・卒業式で授与される卒業証書は不可 ・卒業証明書が旧姓の方は、戸籍抄本等(原本のみ)が必要です ・専修学校専門課程の卒業証明書には「専門課程」の記載が必要です				
	その他(学歴を問わず)	13年以上の実務経験年数		—				
(ホ)	お専主指導監督の技術者の実務経験が2年以上ある者	2級造園施工管理技術検定第二次検定*合格者 (※令和2年度までは実地試験)		合格後3年以上の実務経験年数 (本年度該当者は令和2年度までの合格者) ※2級合格後、以下の両方を含む3年以上の実務経験年数を有している者 ・指導監督の実務経験年数が1年以上 ・専任の監理技術者の配置が必要な工事において、監理技術者の指導を受けた2年以上の実務年数		2級造園施工管理技術検定第二次検定(令和2年度までは実地試験)に合格したことを証する書類(写)	① A票・B票(B-2) ・21～24、27～29ページ参照 ② C票 ・31～32ページ参照 ・証明用写真を貼付(17ページ参照) ③ D票 ・30ページ参照 ・振替払込受付証明書を貼付(17ページ参照) ④ 住民票 ・17ページ参照	
		学校教育法による ・高等学校 ・中等教育学校(中高一貫6年) ・専修学校の専門課程	指定学科を卒業後8年以上の実務経験年数 ※左記学校の指定学科を卒業後、以下の両方を含む8年以上の実務経験年数を有している者 ・指導監督の実務経験年数が1年以上 ・5年以上の実務経験の後に、専任の監理技術者の配置が必要な工事において、監理技術者の指導を受けた2年以上の実務経験年数		卒業証明書(18ページ参照) ・卒業証明書は原本のみ ・卒業式で授与される卒業証書は不可 ・卒業証明書が旧姓の方は、戸籍抄本等(原本のみ)が必要です ・専修学校専門課程の卒業証明書には「専門課程」の記載が必要です			

(※)職業能力開発促進法による2級「造園」技能検定合格者に限ります。(合格証書の写しが必要です)2級「造園」技能検定の資格を取得していない場合は11年以上の実務経験年数が必要です。

3. 実務経験について

(1) 実務経験とは

「実務経験」とは、造園工事の実施にあたり、その施工計画の作成及び当該工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理に直接的に関わる技術上のすべての職務経験をいい、具体的には次の①～③をいいます。

- ① 受注者（請負人）として施工を指揮・監督した経験（施工図の作成や、補助者としての経験も含む）
- ② 発注者側における現場監督技術者等（補助者としての経験も含む）としての経験
- ③ 設計者等による工事監理の経験（補助者としての経験も含む）

また、それらに関して具体的な工事種別・工事内容・従事した立場等については10～11ページを参照してください。（実務経験の内容に不備があると当年度の第二次検定は受検できません）

(2) 実務経験の申請にあたって

- ① 実務経験は、受検資格（5～8ページ）の基本となる極めて重要な内容ですので、申込みにあたっては、実務経験に関する**A票**、**B票**、**C票**について、21～32ページをよく確認の上、作成してください。
- ② 申請書の記載内容は、提出後の訂正等はできませんので十分注意して記入してください。
- ③ 実務経験は連続している必要はありません。それぞれ従事した期間の合計が必要な年数に達していれば結構です。
- ④ 勤務先が変わった場合は、行を変えて記入してください。書ききれない場合は20ページ注意事項④の要領で作成してください。
- ⑤ 工事種別は10ページの〔表Ⅰ〕から該当する主なものを選び番号を記入してください。
- ⑥ 工事内容は10ページの〔表Ⅰ〕から該当する主なものを選び番号を記入してください。
- ⑦ 従事した立場は、11ページの〔表Ⅱ〕から該当する主なものを選び記号を記入してください。
- ⑧ 実務経験証明書は、証明者による証明を必ずもらってから提出してください。
- ⑨ 12ページの（4）、（5）に該当する工事及び業務・作業等は実務経験になりません。

(3) 指導監督の実務経験の申請にあたって

- ① 実務経験年数には1年以上の指導監督の実務経験が含まれていることが必須です。
- ② 指導監督の実務経験を工事名ごとに抜き出し、指導監督の実務経験内容を作成してください。
- ③ 指導監督の実務経験とは、現場代理人、主任技術者、工事主任、施工監督等の立場で、部下や下請業者等に対して工事の技術面を総合的に指導・監督した経験をいいます。
- ④ 指導監督の実務経験は、受注者の立場における経験のほか、発注者側の現場監督技術者等としての総合的に指導・監督した経験も含みます。
- ⑤ 工事種別は10ページの〔表Ⅰ〕から該当する主なものを選び番号を記入してください。
- ⑥ 工事内容は10ページの〔表Ⅰ〕から該当する主なものを選び番号を記入してください。
- ⑦ 地位・職名は、11ページの〔表Ⅱ〕から該当する主なものを選び記号を記入してください。
- ⑧ 12ページの（4）、（5）に該当する工事及び業務・作業等は指導監督の実務経験になりません。

[表Ⅰ] 造園施工管理に関する実務経験として認められる工事種別・工事内容

工事種別	工事内容		
01. 公園工事	1. 植栽工 4. 地被工 7. 景石工(石組・石積等) 10. サービス施設工(ベンチ・テーブル等) 13. 園地造成工(地ごしらえ工)	2. 移植工 5. 花壇工 8. 園路広場工 11. 遊戯施設工 14. 植栽基盤整備工	3. 樹木整姿工 6. 水景工(池・滝・流れ等) 9. 休養施設工(四阿・パーゴラ等) 12. 運動施設工
02. 緑地工事	1. 植栽工 4. 地被工 10. サービス施設工(ベンチ・テーブル等) 14. 植栽基盤整備工	2. 移植工 8. 園路広場工 12. 運動施設工	3. 樹木整姿工 9. 休養施設工(四阿・パーゴラ等) 13. 園地造成工(地ごしらえ工)
04. 墓苑園地造園工事	1. 植栽工 4. 地被工 9. 休養施設工(四阿・パーゴラ等)	2. 移植工 5. 花壇工 10. サービス施設工(ベンチ・テーブル等)	3. 樹木整姿工 8. 園路広場工
05. 住宅団地造園工事	1. 植栽工 4. 地被工 9. 休養施設工(四阿・パーゴラ等) 14. 植栽基盤整備工	2. 移植工 5. 花壇工 10. サービス施設工(ベンチ・テーブル等)	3. 樹木整姿工 8. 園路広場工 11. 遊戯施設工
06. 道路緑化(植栽)工事	1. 植栽工 4. 地被工	2. 移植工 14. 植栽基盤整備工	3. 樹木整姿工
07. 遊園地造園工事	1. 植栽工 4. 地被工 9. 休養施設工(四阿・パーゴラ等)	2. 移植工 5. 花壇工 10. サービス施設工(ベンチ・テーブル等)	3. 樹木整姿工 8. 園路広場工 11. 遊戯施設工
08. 庭園工事	1. 植栽工 4. 地被工 7. 景石工(石組・石積等)	2. 移植工 5. 花壇工 13. 園地造成工(地ごしらえ工)	3. 樹木整姿工 6. 水景工(池・滝・流れ等) 14. 植栽基盤整備工
09. 建築物付属園地造園工事	1. 植栽工 4. 地被工 14. 植栽基盤整備工	2. 移植工 5. 花壇工	3. 樹木整姿工 8. 園路広場工
10. 屋上(壁面)緑化工事	1. 植栽工 4. 地被工	2. 移植工 5. 花壇工	3. 樹木整姿工 14. 植栽基盤整備工
11. 上記に分類できない その他の造園工事	代表的な工事内容を実務経験証明書の工事内容欄に記述して下さい。		

※上記工事種別の対象地等における維持工事、改修工事、補修工事も含む。
（ただし、除草のみ、樹木伐採のみの工事は実務経験としては認められません）

[表Ⅱ] 造園施工管理に関する実務経験として認められる従事した立場及び地位・職名

受検資格として認められる工事に携わったときの立場	
○施工管理（請負者の立場での現場管理業務）→	イ. 工事係、ロ. 現場施工係、ハ. 施工管理係、ニ. 工事主任、ホ. 主任技術者、ヘ. 現場代理人、ト. 施工監督
○施工監督（発注者の立場での工事監理業務）→	チ. 発注者側監督員
○設計監理（設計者の立場での工事監理業務）→	リ. 工事監理
※設計監理業務を一括で受注している場合、その業務期間のうち、工事監理業務期間内のみ認められます。	

(4) 造園施工管理に関する実務経験とは認められない工事等

工事種別	工事内容
土木一式工事又は建築一式工事等の工事	※植栽工等の造園工事に係る内容は除く
道路工事	法面保護工（コンクリートやモルタル吹付工、法粹工、厚層基材吹付工、種子吹付工）、道路の維持工事（※植栽地等の維持等、造園工事に係る内容は除く）
河川工事及び砂防工事	堤防張芝工事、樹木伐採工事、砂防植栽工事、河川維持工事（※植栽地等の維持等、造園工事に係る内容は除く）
林業工事	植林工事、造林工事、間伐工事、治山工事、林道工事
建築工事	便所・運動施設等の建築工事
外構工事	ビル・マンション・個人住宅等の擁壁・フェンス・門扉・駐車場等の構造物が中心の工事

(5) 造園施工管理に関する実務経験とは認められない業務・作業等

※造園工事の施工に直接的に関わらない次のような業務などは、実務経験とは認められません。

- ①工事着工以前における設計者としての基本設計・実施設計のみの業務
- ②測量、調査（点検含む）、設計（積算を含む）等の業務
※ただし、施工中の工事測量は認める
- ③現場事務、営業等の事務
- ④官公庁における行政及び行政指導
- ⑤研究所、学校（大学院等）、訓練所等における研究、教育及び指導等の業務
- ⑥アルバイトによる作業員としての経験
- ⑦工程管理、品質管理、安全管理等を含まない雑役務のみの業務、単純な労務作業等
- ⑧入社後の研修期間（工事現場の施工管理になりません）

※上記業務以外でも、造園施工管理の実務経験とは認められない業務・作業等は、受検できません